

2021年度

# 環境経営レポート

(2021年4月1日～2022年3月31日)



発行日：2022年7月1日

 **三菱マテリアル電子化成株式会社**  
日本海建設電気事業所

〒010-0065 秋田県秋田市茨島三丁目1番6号  
TEL 018-863-0251 FAX 018-863-6353

# 1. 環境経営方針

## <基本理念>

当事業所は、地域に根ざした建設業者として、環境に対する企業の社会的責任と重要性を認識し、地域をはじめとする地球環境の保全と維持に配慮すると共に、環境負荷の少ないコンストラクションを目指した事業活動を継続的に行うものとする。

## <活動指針>

1. 当事業所の事業活動では、事業活動における環境負荷の軽減及び環境負荷の少ない施工方法を推進します。
2. 当事業所の事業活動に関係する環境関連の法令、規制、協定などの要求事項を遵守するとともに、排水や廃棄物の適正な管理及び緊急事態への対応訓練により汚染の防止に努める。
3. 当事業所の事業活動に伴い、環境に著しい影響を与える可能性のある項目について環境目的、環境目標を定めて管理し、定期的に見直すことにより、事業活動の継続的な改善に努める。
  - ①省資源
  - ②省エネルギー
  - ③産業廃棄物の削減
  - ④有害物質の削減
4. 環境経営方針を実行することの重要性及び当事業所の事業活動が環境に与える影響について、環境に関する教育を通じて、当事業所の従業員及び当事業所の工事現場内で作業を行うすべての要員に周知徹底を図ります。
5. 当事業所は、この環境方針を達成するために、エコアクション21に適合した環境マネジメントシステムを構築し、維持し、継続的に改善する。
6. この環境方針は、一般に公開致します。

2021年4月1日

三菱マテリアル電子化成株式会社  
日本海建設電気事業所長

茂木 義明

## 2. 組織の概要

### 2-1. 事業所名及び代表者名

- ◆ 三菱マテリアル電子化成株式会社 日本海建設電気事業所
- ◆ 日本海建設電気事業所長 茂木 義明

### 2-2. 事業の概要

- ◆ 土木工事・建築工事の設計、施工、監理および請負
- ◆ 電気工事、計装工事、通信工事、警報工事の設計、施工、監理および請負ならびに保守、点検

### 2-3. 所在地と連絡先（担当者）

- ◆ 住 所：〒010-0065 秋田県秋田市茨島三丁目1番6号  
(連絡先：TEL 018-863-0251 FAX 018-863-6353 Email：jmnsales@mmc.co.jp)
- ◆ 担当者：環境管理責任者 山崎 博久

### 2-4. 事業の規模

- ◆ 創 業：1967年6月 ◆ 資本金：26億円
- ◆ 売上高と従業員数：

事業年度	2018年 (2018.4~2019.3)	2019年 (2019.4~2020.3)	2020年 (2020.4~2021.3)	2021年 (2021.4~2022.3)
売上金額（百万円）	社外工事： 862 社内工事： 945 合 計：1,808	社外工事：1,181 社内工事： 348 合 計：1,529	社外工事：1,210 社内工事： 237 合 計：1,447	社外工事：1,178 社内工事：1,262 合 計：2,440
従業員数（人）	33	34	32	30

注）売上金額は、当社会計年度（当年4月～翌年3月まで）による。

## 3. 対象範囲と対象取組期間

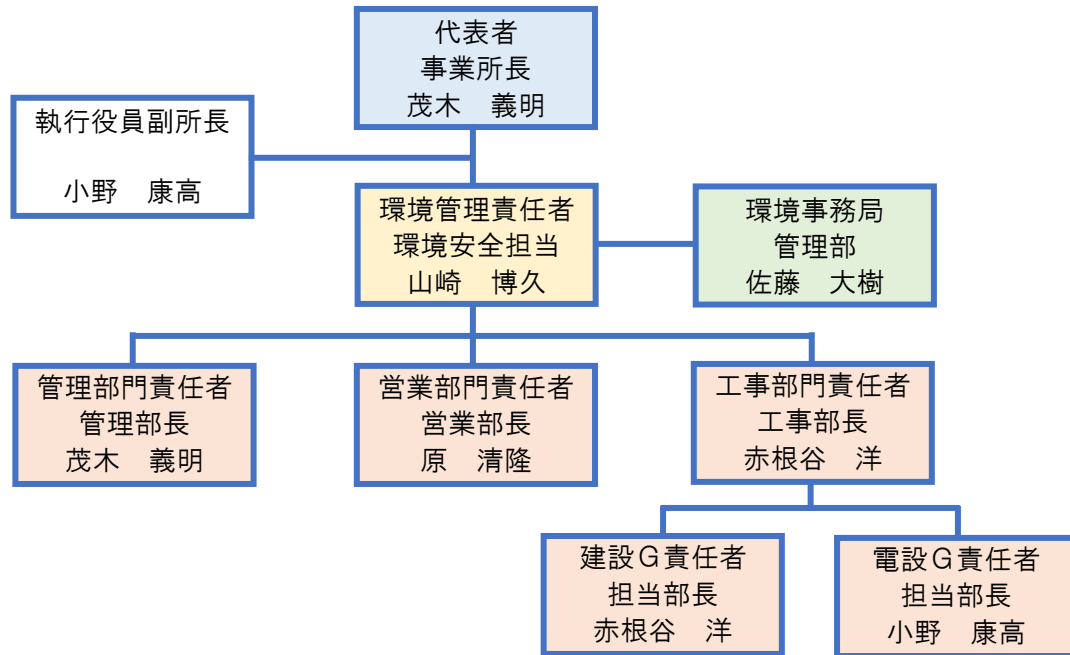
### 3-1. 認証・登録範囲

- ◆ 日本海建設電気事業所（全組織・全活動）  
※三菱マテリアル電子化成株式会社・本社事業所ではISO14001に基づくマネジメントシステムの認証を取得しております。  
日本海建設電気事業所は事業内容が異なり、独立した運用をしていることからEA21の認証を取得しております。

### 3-2. 環境活動レポートの対象取組期間

- ◆ 2021年4月1日～2022年3月31日  
※当社会計年度（4月～3月）に合わせ、毎年7月に発行していきます。

### 3-3. 実施体制



環境経営システム 役割・責任・権限表

役割・責任・権限	
代表者(事業所長) 茂木 義明	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営に関する統括責任。</li> <li>環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。</li> <li>環境管理責任者を任命。</li> <li>環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li> <li>環境経営目標・環境経営活動計画書を承認</li> <li>代表者による全体の評価と見直しを実施</li> <li>環境経営活動レポートの承認。</li> </ul>
環境管理責任者 山崎 博久	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの構築、実施、管理。</li> <li>環境関連法規等の取りまとめ票を承認。</li> <li>環境経営目標・環境経営活動計画書を確認。</li> <li>環境経営活動の取組結果を代表者へ報告。</li> <li>環境経営活動レポートの確認。</li> </ul>
環境事務局 佐藤 大樹	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者の補佐、EA21 推進委員会の事務局。</li> <li>環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施。</li> <li>環境経営目標、環境経営活動計画書原案の作成。</li> <li>環境経営活動の実績集計。</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表の作成。</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施。</li> <li>環境関連の外部コミュニケーションの窓口。</li> <li>環境経営活動レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）</li> </ul>
部門長 茂木 義明 原 清隆 赤根谷 洋 小野 康高	<ul style="list-style-type: none"> <li>自部門における環境経営システムの実施。</li> <li>自部門における環境経営方針の周知。</li> <li>自部門の従業員に対する教育訓練の実施。</li> <li>自部門に関連する環境経営活動計画の実施及び達成状況の報告。</li> <li>特定された項目の手順書作成及び運用管理。</li> <li>自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成テスト、訓練を実施、記録の作成。・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施。</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚。</li> <li>決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営活動へ参加。</li> </ul>

## 4. 環境経営目標

### 4-1. 環境経営目標項目の選定

環境負荷の自己チェックと環境への取組の自己チェック、ならびに環境経営方針との整合性を図り、次の6項目について、環境経営目標を設定しました。

- 1) 二酸化炭素排出量削減    2) 廃棄物排出量削減    3) 総排水量削減  
4) 化学物質使用量削減    5) 環境配慮型（省エネ・省力化）工事の受注

### 4-2. 環境負荷の実績及び環境経営目標（短期・中長期）の設定

二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、総排水量、化学物質排出量、製品サービスに係る環境負荷の削減について、単年度目標ならびに中長期目標を下記のように設定しました。

（電力排出係数は2020年度、東北電力 0.523 kg-CO<sub>2</sub>/kWh を使用。）

	2020年度実績 基準年度 (2020.4~2021.3)	単年度目標 2021年度 (2021.4~2022.3)	中長期目標 2021~2023年度 (3年間)
◆二酸化炭素排出量	230,909 kg-CO <sub>2</sub>	基準年度より1%削減	基準年度より2%削減
1) 電力	50,556 kg-CO <sub>2</sub>	基準年度より1%削減	基準年度より2%削減
2) ガソリン・軽油	132,037 kg-CO <sub>2</sub>	基準年度より0.5%削減	基準年度より1.5%削減
3) 灯油・LPG	48,316 kg-CO <sub>2</sub>	基準年度より0.5%削減	基準年度より1.5%削減
◆廃棄物排出量			
1) 産業廃棄物	82%（再資源化率）	85%（再資源化率）	85%（再資源化率）
2) 一般廃棄物	1,842 kg	基準年度より0.5%削減	基準年度より1.5%削減
◆総排水量（水使用量）	1,347 m <sup>3</sup>	基準年度より0.5%削減	基準年度より1.5%削減
◆化学物質使用量	化学物質の特定	化学物質の特定	化学物質の特定
◆環境配慮型工事受注	12件	基準年度より20%増加	基準年度より40%増加

### 4-3. 2021年度（取組対象期間）環境経営目標値

4-2. の考え方に従って、2020年度実績値を基に、2021年度の具体的目標値を下記のように算出しました。

	2020年度実績 (2020.4~2021.3)	2021年度目標 (2021.4~2022.3)
◆二酸化炭素排出量	230,909 kg-CO <sub>2</sub>	225,932 kg-CO <sub>2</sub>
1) 電力	50,556 kg-CO <sub>2</sub>	50,051 kg-CO <sub>2</sub>
2) ガソリン・軽油	132,037 kg-CO <sub>2</sub>	130,716 kg-CO <sub>2</sub>
3) 灯油・LPG	48,316 kg-CO <sub>2</sub>	48,075 kg-CO <sub>2</sub>
◆廃棄物排出量		
1) 産業廃棄物	82%（再資源化率）	85%（再資源化率）
2) 一般廃棄物	1,842 kg	1,833 kg
◆総排水量（水使用量）	1,347 m <sup>3</sup>	1,340 m <sup>3</sup>
◆化学物質使用量	化学物質の特定	化学物質の特定
◆環境配慮型工事受注	12件	14件

## 5. 主な環境経営活動計画

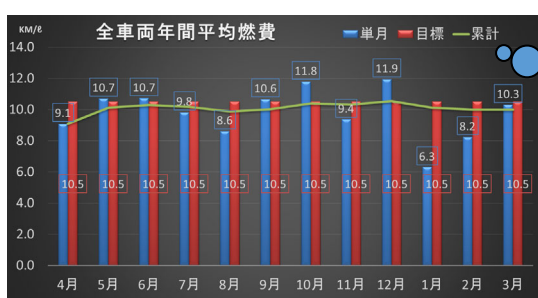
### 5-1. 二酸化炭素排出量の削減

#### 1) 電力使用量の削減

- ◆室内温度は、冷房時 28℃、暖房時 20℃の設定とする
- ◆昼休み等、不要な照明を消灯する
- ◆不要な OA 機器の電源 OFF、帰宅時に PC の電源 OFF
- ◆各種スイッチ付近に節電ポスター掲示により、意識徹底を図る

#### 2) ガソリン・軽油使用量の削減

- ◆ドライブレコーダーを運用し、運転操作の分析・結果を運転者へ通知し、エコドライブの徹底を図る



車両の燃費計測を開始

- ◆エコドライブ10のすすめを掲示により、意識の徹底を図る
- ◆排気ガス、騒音レベルを抑えるため、適正な車輛管理を行う

#### 3) 灯油・LPG使用量の削減

- ◆暖房の温度設定 20℃の徹底

### 5-2. 廃棄物排出量の削減

- ◆分別を徹底し、リサイクルの推進
- ◆マニフェストをもとに廃棄物の適正処理の徹底
- ◆廃棄物の中間処理場などを定期的に、直接、確認
- ◆会議時のプロジェクターの使用、両面印刷、縮小印刷
- ◆裏紙の使用
- ◆コピー機のトナーカートリッジの回収、リサイクルの推進
- ◆テプラカートリッジの回収、リサイクルの推進

### 5-3. 排水量（水使用量）の削減

- ◆節水ポスター掲示により、意識の徹底を図る
- ◆蛇口の水漏れが無い確認

### 5-4. 化学物質使用量の削減

- ◆化学物質(塗料等)の適正使用(蓋の開けっぱなし厳禁)
- ◆化学物質(塗料等)の適正廃棄
- ◆化学物質(塗料等)の適正保管(施錠管理)

### 5-5. 環境配慮型工事の受注

- ◆施主の省エネ・省力化に寄与する提案及び工事の受注



## 6. 環境経営目標の実績（2021.4～2022.3）

対象取組期間における環境経営目標の達成状況は下記に示すとおりでした。

※1…削減量・削減率の欄において、▲印は、マイナス（増加）を示す。

※2…評価：◎→達成できた、○→削減したが目標未達、△→昨年度とほぼ同じ、×→昨年度より増加

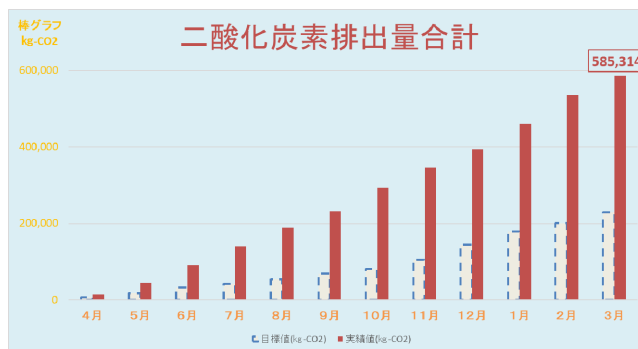
### 6-1. 二酸化炭素排出量

#### 1) 全体（目標：1%削減）

2020 年度実績	2021 年度目標	2021 年度実績	削減量※1	削減率	評価※2
230,909 kg-CO <sub>2</sub>	229,502kg-CO <sub>2</sub>	585,314kg-CO <sub>2</sub>	355,813kg-CO <sub>2</sub>	▲155%	×

#### 【コメント】

二酸化炭素排出量全体で、2020 年度目標に対し 155%の増加となり目標を達成できませんでした。下記に排出要因別の達成状況を示します。

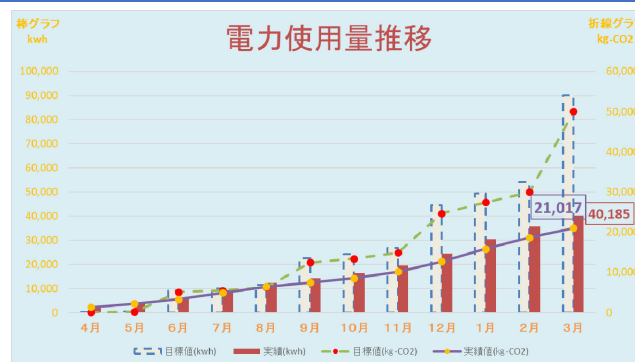


#### 2) 電力使用（目標：1%削減）

2020 年度実績	2021 年度目標	2021 年度実績	削減量※1	削減率	評価※2
50,556 kg-CO <sub>2</sub>	50,051kg-CO <sub>2</sub>	21,017kg-CO <sub>2</sub>	▲29,034kg-CO <sub>2</sub>	58%	◎

#### 【コメント】

2021 年度目標に対し 58%の減少となり目標を達成しました。事務所照明の LED 化の影響と各現場での発電機使用による電力使用量の大幅な減少によりです。引き続き、不要な箇所の消灯、エアコンのこまめな温度設定、ON/OFF 等、使用量削減に取り組んでおります。

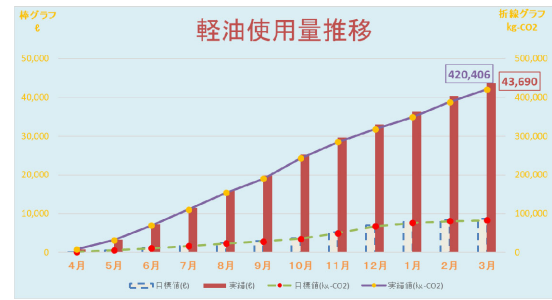
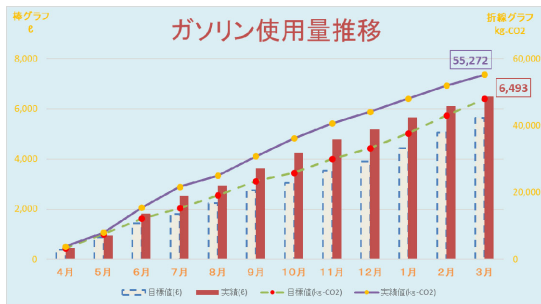


#### 3) ガソリン・軽油使用（目標：0.5%削減）

2020 年度実績	2021 年度目標	2021 年度実績	削減量※1	削減率	評価※2
132,037 kg-CO <sub>2</sub>	131,377 kg-CO <sub>2</sub>	475,678kg-CO <sub>2</sub>	344,301kg-CO <sub>2</sub>	▲262%	×

#### 【コメント】

2021 年度目標に対し 262%の増加となり目標を達成できませんでした。主な要因としては工事量の増加および現場事務所での電源用に発電機使用が大幅に増加しました。車輛についてはエコドライブの推進、建設機械については待機時のアイドリングストップ等を実施し、使用量の削減に取り組んでおります。

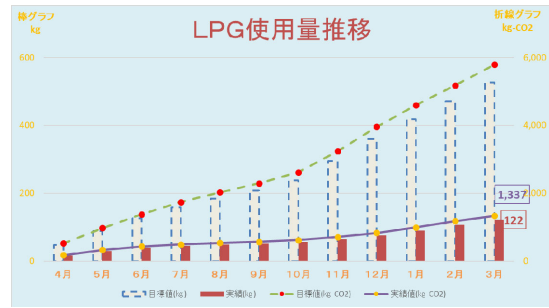
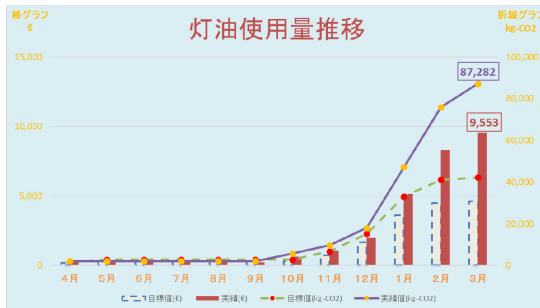


#### 4) 灯油・LPG使用（目標：0.5%削減）

2020 年度実績	2021 年度目標	2021 年度実績	削減量※1	削減率	評価※2
48,316 kg-CO <sub>2</sub>	48,074 kg-CO <sub>2</sub>	88,619kg-CO <sub>2</sub>	40,545 kg-CO <sub>2</sub>	▲84%	×

##### 【コメント】

2021 年度目標に対し 84%の増加となり目標を達成できませんでした。LPGは減少しましたが、冬季稼働工事が増加したことにより灯油の使用量が大幅に減少しました。室内では無理のない程度に暖房 20℃を徹底し、使用量削減に取り組んでおります。



## 6-2. 廃棄物排出量

### 1) 産業廃棄物（目標：再資源化率 85%）

取組期間における廃棄物の排出実績は下表のとおりで、産業廃棄物においては解体工事にて排出されるコンクリートくずが多くなっています。これらは建設副産物であり 100%リサイクルされます。

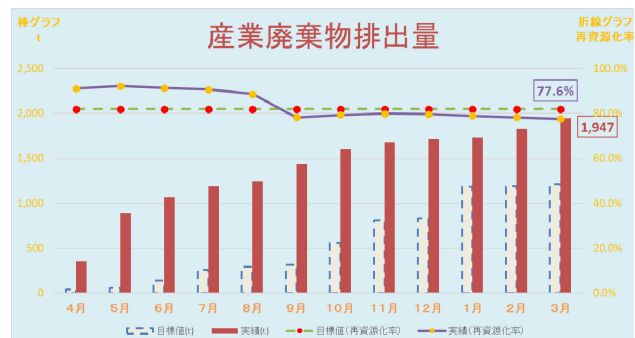
今回の集計では、再資源化率 77.6%と目標を達成できませんでした。今後は廃棄物の分別を推進し、再資源化率を向上させ、最終処分量の削減を向上させる取組を推進します。

2020 年度実績	2021 年度目標	2021 年度実績	削減量※1	増加率	評価※2
82%	85%	78%	—	▲4%	×

##### 【コメント】

2021 年度目標に対し 4%の減少となり目標を達成できませんでした。これは再資源化されない、汚泥、混合廃棄物、廃石膏ボードの排出量が増加した影響によります。

建設業では受注工事状況において大きく左右される傾向があります。



なお、廃棄物の排出種類と処分量については下記の通りです。



種類	再生量	最終処分量	排出量合計	再資源化率
アスコンがら	485.500 t	- t	485.500 t	100.0 %
ガラス・陶磁器くず	- t	38.900 t	38.900 t	0.0 %
がれき類	- t	3.200 t	3.200 t	0.0 %
コンクリートがら	925.340 t	- t	925.340 t	100.0 %
汚泥	- t	167.850 t	167.850 t	0.0 %
金属くず	62.112 t	0.050 t	62.162 t	99.9 %
混合廃棄物（安定型）	- t	2.720 t	2.720 t	0.0 %
混合廃棄物（管理型）	- t	86.950 t	86.950 t	0.0 %
紙くず	0.900 t	- t	0.900 t	100.0 %
繊維くず	- t	0.100 t	0.100 t	0.0 %
廃プラスチック類	- t	25.220 t	25.220 t	0.0 %
廃蛍光管	0.021 t	- t	0.021 t	100.0 %
廃石膏ボード	1.500 t	84.600 t	86.100 t	1.7 %
廃油	- t	1.320 t	1.320 t	0.0 %
木くず	36.210 t	0.500 t	36.710 t	98.6 %
廃石綿含有廃棄物	- t	22.050 t	22.050 t	0.0 %
廃石綿等	- t	2.200 t	2.200 t	0.0 %
合計	1,511.583 t	435.660 t	1,947.243 t	77.6 %

## 2) 一般廃棄物（目標：0.5%削減）

一般廃棄物においては古紙及び可燃ごみの排出が多くなっています。古紙については再生資源としてリサイクルされますが、可燃ごみについては焼却され、リサイクルされません。紙類の分別をより徹底し、引き続き再資源化率を向上させる取組を推進します。紙類節約の徹底や、ごみ分別方法のポスター掲示などの廃棄物削減に向けた取組を継続中です。

◆ビン・缶類・ペットボトル・古紙（再資源化）

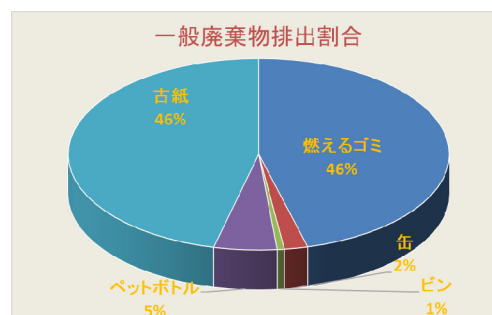
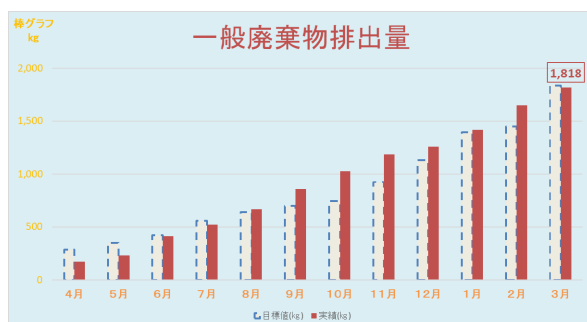
◆その他の可燃ごみ（焼却処理）

対象期間内における排出量の実績値は下記のとおりです。

2020 年度実績	2021 年度目標	2021 年度実績	削減量※1	削減率	評価※2
1,842 kg	1,833 kg	1,818 kg	▲15 kg	1%	◎

### 【コメント】

2021 年度目標に対し 1%の減少となり目標を達成しました。引き続き、分別の徹底と再利用とリサイクルを推進します。



### 6-3. 総排水量・水使用量（目標：0.5%削減）

総排水量は、地下水は使用していないので、水道の使用量と等しくなります。2021年度目標に対し83%の減少となり目標を達成しました。現場での水道使用が大幅に減少したことによります。

2020年度実績	2021年度目標	2021年度実績	削減量※1	削減率	評価※2
1,347 m <sup>3</sup>	1,340 m <sup>3</sup>	223 m <sup>3</sup>	1,117 m <sup>3</sup>	83%	◎

### 6-4. 化学物質排出量（目標：適正使用と現状把握）

化学物質排出量については、塗料などに含まれる含有物質が少量多品目となり排出量の集計は困難なため、化学物質の特定と、化学物質含有資材の適正保管、適正使用、適正廃棄としております。

化学物質の種類（抜粋）
キシレン・トリメチルベンゼン・ストレートアスファルト他

### 6-5. 環境配慮型（省エネ・省力化）工事の受注

新型コロナウイルス感染症拡大により厳しい状況が続く中、温暖化対策に配慮した提案により目標を達成しました。

引き続き、温暖化対策に配慮した提案営業を進め、顧客がメリットを享受できる工事の受注に努めます。

	2020年度実績	2021年度目標	2021年度実績
環境配慮型工事受注件数	12件	14件	18件

## 7. 環境経営活動計画の取組結果の評価 ならびに次年度の取組内容

### 7-1. 環境活動計画の取組状況の評価

○…十分に取組んだ △…ある程度取組んだ ×…取組不十分（未実施） —…評価保留

取組項目		具体的活動計画	評価
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	◆室内温度は、冷房時 28℃、暖房時 20℃の設定とする	△
		◆昼休み等、不要な照明を消灯する	○
		◆不要な OA 機器の電源 OFF、帰宅時に PC の電源 OFF	○
		◆各種スイッチ付近に節電ポスター掲示により、意識の徹底を図る	○
	ガソリン・軽油使用量の削減	◆エコドライブの徹底	○
		◆エコドライブ 10 のすすめを掲示により、意識の徹底を図る	○
		◆排気ガス、騒音レベルを抑えるため、適正な車輛管理を行う	○
灯油使用量の削減	◆暖房の温度設定 20℃の徹底	△	
廃棄物排出量の削減	◆分別を徹底し、リサイクルの推進	○	
	◆マニフェストをもとに廃棄物の適正処理の徹底	○	
	◆廃棄物の中間処理場などを定期的に、直接、確認	○	
	◆会議時のプロジェクターの使用、両面印刷、縮小印刷	○	
	◆裏紙の使用	○	
	◆コピー機のトナーカートリッジの回収、リサイクルの推進	○	
	◆テプラカートリッジの回収、リサイクルの推進	○	
排水量（水使用量）の削減	◆節水ポスター掲示により、意識の徹底を図る	○	
	◆蛇口の水漏れが無いか確認	○	
化学物質使用量の削減	◆化学物質（塗料等）の適正使用（蓋の開けっぱなし厳禁）	○	
	◆化学物質（塗料等）の適正廃棄	○	
	◆化学物質（塗料等）の適正保管（施錠管理）	○	
環境配慮型工事の受注	◆環境配慮型（省エネ・省力化）工事の受注	○	

### 7-2. 次年度の取組内容（方向性）

2021 年度の結果を踏まえ、目標未達項目がありますが、活動自体は安定しております。引き続き活動の継続と安定、更なる e c o 活動を推進し、引き続き現状の活動を継続いたします。

なお、現時点での中期目標については以下の通りです。

コア指標	環境経営方針	環境経営目標項目	責任部門 責任者	削減率又は 増加率(%) 単位	基準年度 基準値	年度毎目標値		
						2021 年度	2022 年度	2023 年度
二酸化炭素排出量	省エネルギー	電力使用量削減	管理部 茂木	削減率 0.5% kg-CO2	2020年 50,556	削減率 1.0% 50,051	削減率 0.5% 49,801	削減率 0.5% 49,552
		軽油・ガソリン使用量削減	営業部 原	削減率 0.5% kg-CO2	2020年 132,037	削減率 0.5% 130,716	削減率 0.5% 130,062	削減率 0.5% 129,412
		灯油・LPG使用量削減	管理部 茂木	削減率 0.5% kg-CO2	2020年 48,316	削減率 0.5% 48,075	削減率 0.5% 47,835	削減率 0.5% 47,596
廃棄物排出量	産業廃棄物の削減	産業廃棄物再資源化率	工事部 赤根谷	再資源化率 85%維持 %	2020年 82%	再資源化率 85%	再資源化率 85%	再資源化率 85%
		一般廃棄物排出量削減	管理部 茂木	削減率 0.5% kg	2020年 1,842	削減率 0.5% 1,833	削減率 0.5% 1,824	削減率 0.5% 1,815
総排水量	省資源	総排水量削減	管理部 茂木	削減率 0.5% m <sup>3</sup>	2020年 1,347	削減率 0.5% 1,340	削減率 0.5% 1,333	削減率 0.5% 1,326
化学物質排出量	有害物質の削減	化学物質の適正使用・適正廃棄	工事部 赤根谷		2020年 データ把握	化学物質の適正使用・適正廃棄 データ把握	化学物質の適正使用・適正廃棄 データ把握	化学物質の適正使用・適正廃棄 データ把握
総製品生産量又は販売量	自らが生産・販売提供する製品及びサービスに関する項目	環境配慮型(省エネ・省力化)工事の受注	営業部 原	増加率 10% 件	2020年 12	増加率 20% 14	増加率 10% 15	増加率 10% 17

## 8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟の有無

2022年3月31日付において、環境関連法規等の遵守状況を確認しましたが、違反状態は認められませんでした。また、関係当局からの違反等の指摘や指導、あるいは、外部からの訴訟についても、過去3年間一度もありません。

## 9. 代表者による全体評価と見直しの結果

### 9-1. 環境経営システムの有効性の評価

環境マネジメントシステムの活動自体は安定してきておりますが、エコアクション 21 についての理解を広げる必要があると思われまます。

今後、環境管理責任者を中心として、全従業員で有効的なPDCAサイクルにより継続的な改善を図り、積極的な取組及び事業活動を通して、人と社会と地球のために貢献したいと考えています。

## 9-2. 環境経営システム変更の必要性

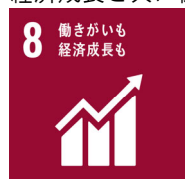
現段階で、環境方針、環境目標、環境活動計画等、システムの主要部分について、変更の必要はないと判断します。

## 9-3. 次年度以降の取組の方向性

2021年度、目標を達成できなかった項目については、これまでの実績の要因とデータの分析を基に目標数値や比較方法の見直しを検討し、活動の見える化を推進し、エコアクション21の更なる活動へ取組めます。

当事業所は三菱マテリアルグループの企業理念である「人と社会と地球のために」持続可能な社会の実現に向け、SDGsの達成に貢献するために取り組んでいます。

経済成長と共に働きがいを考える。



毎週水曜日はノー残業デー  
長時間労働の抑制  
障害者雇用  
女性が働きやす環境  
e t c

環境に配慮したコンストラクションの実践。



エコアクション21を通じ環境影響に配慮する。  
CO2排出の抑制  
産業廃棄物の適正処理と排出の抑制  
化学物質の適正使用  
e t c



この環境経営活動レポートは、ご希望の方に差し上げています。ご希望の方は、弊社窓口でお申し出いただくか、下記にご連絡下さい。また、エコアクション21認証取得後は、エコアクション21中央事務局のHP (<http://www.ea21.jp/>)でもご覧いただけます。

〒010-0065 秋田県秋田市茨島三丁目1番6号

 **三菱マテリアル電子化成株式会社**  
日本海建設電気事業所

TEL 018-863-0251 FAX 018-863-6353

Email : jmnsales@mmc.co.jp